

第1回大会 超レア、四暗刻単騎ツモ！！

ツツジが見頃を迎えた 4 月 24 日（木）正午から令和 7 年度麻雀部総会及び第 1 回麻雀大会を ZOO (ズー) 池袋西口総本店で行いました。

ゴールデンウイーク直前のこの時期、色々と取り沙汰されながらも 4 月 13 日に開幕した大阪・関西万博（2025 年日本国際博覧会）に出かけようかと考えている方もいらっしゃるのではないかでしょうか。

日本で万博が開催されるのは 6 度目とのことです、直近の 2005 年（平成 17 年）の愛・地球博よりも 55 年前の 1970 年（昭和 45 年）の大阪万博の方が記憶に残っているのは私だけでしょうか。

三波春夫さんらが歌う「世界の国からこんにちは」、岡本太郎氏がデザインした太陽の塔、初めて知ったパビリオンという言葉などが脳裏に浮かびます。

まあそれは東京オリンピックと聞くと 4 年前のことではなく 1964 年（昭和 39 年）のことを思い出してしまった人間ですから仕方ありませんね。

さて、総会及び大会ですが、総会議事である令和 6・7 年度の事業報告・計画、決算・予算は異論無く承認され、すみやかに麻雀大会に移りました。

今回は、当初は 5 卓での実施を見込んでいましたが、直前に不参加になった方がいて、最終的に 16 人・4 卓での大会となりました。

3 回戦終了時点の得点上位者は、関根・武居・村木・関戸・原井・遠藤の順に僅差で並んでいましたが、4 回戦目で原井さんが 58 ポイントを獲得して一気にトップに躍り出て優勝、関根さんが準優勝という結果になりました。

ところで、今大会において非常に稀なことが出現しましたので紹介します。

3 回戦目の競技中に、「ツモ。写真に撮って残したい！」という大きな声が会場内に響きました。そこで撮影したのが下の 2 枚の写真です。

四暗刻単騎（スーアンコウタンキ）待ちをツモあがりした瞬間です。

麻雀をやらない人には分からないかもしれません、北北北のように同じものの（牌=ハイ）が三つあることを暗刻（アンコ）と呼び、それが 4 組あるのが四暗刻（スーアンコウ）で、完成させるのが難しくて高得点の手役です。

ポーカーで例えるとフォーカードかファイブカードといった感じです。

周りの参加者からは四暗刻単騎待ちはあがったことがないという声が聞かれ、本人も 50 年位前にあがって以来だと話していました。

次回開催は、6 月 25 日（水）です。皆様の参加・入部をお待ちしておりますのでご希望の方は健友事務局にご連絡ください。



